

附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標:発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場
めざす人間像:よりよい未来を共に創り出す人間

第7号 2021年1月8日(金)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

「相手のことを思う時間」

附属幼稚園 副園長 大森 洋子

明けましておめでとうございます。地域の皆様、保護者の皆様、本年もよろしくお願いたします。

12月1日から16日にかけての計4回、附属山口中学校3年生A~D組が、家庭科の授業の一環で附属幼稚園を訪問してくれました。「家族・家庭生活」の内容の一つである「幼児の生活と家族」において、幼児の発達と生活の特徴が分かったり、幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方を理解したりすることなどがねらいで、「幼児の観察や幼児との触れ合い」を通して学ぶことがポイントのようです。コロナ禍のため、例年のようにかかわって一緒に遊ぶ時間は設けられませんでした。中学生たちは6、7人ずつのグループで各クラスに入り、趣向を凝らした劇、クイズ、ダンスなどを園児たちに披露してくれました。また、園児たちも、感想や質問を言ったり、お礼に踊りや作ったものを見てもらったりして、楽しい時間を共有しました。



園児たちの中学生を見るまなざしはとても真剣で、キラキラと輝いています。回を重ねる毎に、「中学生が来るよ」と聞いてから集まって来るまでの時間が早くなり、楽しみに待つようにもなりました。「お兄さんお姉さんが来てくれる」「自分たちのために何かしてくれる」というだけでこんなにも魅力的なのだ改めて感じました。感想を聞くと、「絵が上手だと思った」「ジャンプして出てくるところが面白かった」「何を見て作ったのですか？」などと次々に出てきて、園児なりによく見ていっぱい感じていることが分かります。それに対して中学生は、「ほんと？ あー、うれしい」「そこは頑張って工夫したところなんよ」「絵本をお手本にしました」と、とても素直に丁寧に答えてくれました。まじめにすることが照れくさい時期でもあろう中学生が、園児のために一生懸命演じたり、幼児の素直な反応に真摯に答えたりしてくれる姿はとても印象的でした。

考えてみれば、幼児と中学生とは、年の離れたきょうだいでもない限り、普段の生活の中での接点はほとんどありません。中学生にとっては、あまり意識したことのない幼児のことを考えたり、幼児と出会って、「かわいいな」と感じたりするだけで有意義な時間になるのだらうと思います。一人で大きくなったような気になっていた中学生も、小さい幼児を目の当たりにして、きっと「自分にもこんな頃があったんだな」と思い返したことでしょう。子どもが大きくなるには親や周囲の大人の愛情や支えが必要であるなど、背後にある親や家族のことを感じる機会になった生徒もいるでしょう。幼児の姿から、自分も含めて「成長」には「相手」が欠かせないことや、自分もその「相手」の一人になれることを感じてくれていたらいいなと思いました。

中学生の一人が、「どうしたらみんなが喜んでくれるかなあと考えながら、一生懸命作りました」と話すのを聞いて、かかわりの時間は短くても、園児のことを考えている時間はたくさんあったのだと改めて気づきました。コロナのため交流そのものの時間は減りましたが、その分考える時間は増えたのかも知れません。園児のことを思いながら一生懸命準備してくれたのだととてもうれしく感じるとともに、この「相手のことを思っている時間」こそが大切なのだなあと実感しました。

以前、小学校の先生と幼小交流について話したとき、「交流の回数も大切かもしれないけれど、『相手のことを思う時間がどれだけあるか』が大切だよ」と盛り上がったことを思い出しました。コロナ禍で交流はあまりできないけれど、「相手のことを思うこと」はいくらでもできます。一貫教育も相手を思ってこそ成立するものです。幼小中それぞれの子どもも教員も「相手を思う時間」が益々増えていくといいなと思っています。

【附属幼稚園】

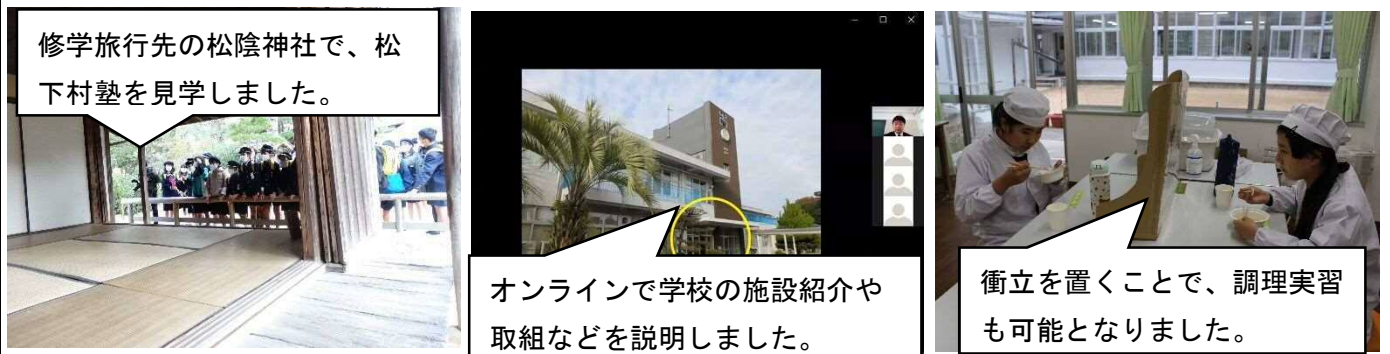


園内のグリーンや木の実などを使って

中学生との交流を楽しんで

クリスマスを前に園児たちはサンタクロースが来てくれるのを楽しみにしながら、クリスマス飾り（アレンジメントやリースなど）をつくったり、サンタクロースが出てくる劇をして楽しんだりして過ごしました。また、附属山口中学校3年生が家庭科の授業「保育体験学習」で園に来てくれました。それぞれは20分程度の短い時間でしたが、各グループで考えた劇や手作りの紙芝居を見せてくれたり、ダンスやゲームなどをして楽しませてくれたりしました。中学生にとっては、園児と交流する中で発達特性等を体験的に学ぶ機会でした。園児にとっては中学校生にやさしくしてもらったり、楽しませてもらったりして、親しみをもつことができました。12月21日にはサンタクロースが園に来てくれ、プレゼントももらって大喜びでした。安心して新しい年を迎えることでしょう。

【附属山口小学校】



修学旅行先の松陰神社で、松下村塾を見学しました。

オンラインで学校の施設紹介や取組などを説明しました。

衝立を置くことで、調理実習も可能となりました。

11月27・28日に、6年生の子どもたちが修学旅行に行きました。感染症予防の対策をすることで、下関・長門・萩方面での修学旅行が実現し、子どもたちは仲間と協力して学ぶことができました。

校内では、対策をすることで、調理実習を始めることができるようになりました。また、12月7日には、オンラインを活用した令和3年度入学選考事前説明会を行いました。多くの方に参加していただき、本校での授業の様子や取組を見ていただきました。来年度に向けて、慎重に計画をたてて行っているところです。

【附属山口中学校】

明けましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様、本年もよろしくお願いたします

12月の附属山口中学校の様子を紹介します。12月10日は、生徒会役員選挙でした。立ち会い演説会は、オンライン会議システムを使っての開催でしたが、推薦者や立候補者の演説を真剣に聴いている生徒の姿が印象的でした。翌日には結果が発表されました。年明けには新執行部による生徒会が始動します。

冬休み中の12月28日、迎春準備が行われました。新生徒会執行部、実行専門委員長が地域の方々の協力のもと、門松づくりを行いました。また、校舎内の清掃も行い、新年を迎える準備をしました。

オンライン会議システムを使って、候補者や推薦者の演説を聴いています。



演説会後の投票風景。学年ごとに分かれて投票しました。

地域の方々と一緒に門松を作っています。



普段できない箇所も念入りに清掃しました。

